



大内中だより

Webページはこちら→



# さつきの丘

令和6年4月5日  
第1号

## 令和6年度がスタートしました

新たに8名の先生方をお迎えし、令和6年度がスタートしました。引き続き、「あいさつ日本一」に挑戦する大中生らしく、生徒たちは、元気なあいさつと歌声、拍手で転入された先生方を温かく迎え入れてくれました。また、生徒一人一人の表情からは、進級を機に、新たなやる気と決意が感じられました。

さて、今年度は1年生43名を迎え、2年生44名、3年生58名、計145名の生徒数となります。令和6年度が生徒にとって充実した1年となるよう、職員一同、全力を尽くして参ります。これまで同様、保護者及び地域の皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

## 新任式・始業式 4/5

転入職員の紹介「よろしく申し上げます」

- 先生（教頭昇任・仁賀保中より）
- 先生（秋田大学附属中より）
- 先生（小友小より）
- 先生（新採用）
- 先生（仁賀保中より）
- 先生（主任主査 大曲高より）
- さん（技能主任 本荘北中より）
- さん（学校司書 鶴舞小より ※新任式等は欠席）



## 歓迎の言葉

この春、堤台の丘に立つこの大内中学校にいらっしゃった8名の先生方、ようこそおいでくださいました。私たち大中生一同、お会いできる日を心からお待ちしておりました。

私たちの大内中学校の生徒は、学年の壁を越えて交流を深めています。運動会や大中祭などの学校行事では、全校が一つになり積極的に取り組んでいます。昨年度は、生徒会事務局が全校レクリエーションを行い、生徒同士の交流がさらに活発になりました。それによって絆が深まったと思います。

また、あいさつにも力を入れており、毎日の玄関でのあいさつ運動や、小学校との合同あいさつ運動を行っています。昨年度は生活委員会の提案で、手を振りながらあいさつをしてみたところ、笑顔が増えました。ぜひ先生方も一緒に参加してみてください。小中合同あいさつ運動だけではなく、アルミ缶回収やアウトメディアチャレンジの実施なども小学校と一緒にするなど、小学校とのつながりも強いことも特徴です。

大内中学校では、学校生活をよりよいものにするために、専門委員会や生徒総会で意見を交わし合い、行事などの企画や運営を生徒が主体となって行っています。今年度は旧大内中と出羽中が統合し、現在の大内中が開校して十年目です。節目の年にふさわしい、充実した一年間になるよう、全校生徒で大内中をこれまで以上に盛り上げたいと思います。

これから先生方と一緒によりよい大内中を築き上げていけることを楽しみにしています。たくさんお世話になると思います。どうぞ、よろしく申し上げます。



生徒代表 3年 ○○ ○○

## 「挑戦は自分を磨き輝かせるもの」

昨年度の入学式のあいさつで、フィギュアスケート女子の渡辺倫果選手の話をしたことを覚えているでしょうか？

私が皆さんに語り続けてきた「失敗は自分を磨き輝かせるもの」という言葉の元となった方です。その後の活躍を注目していたのですが、今季はグランプリシリーズへの出場は逃したものの、シーズン最後の四大陸選手権で、トリプルアクセル、三回転半のジャンプに成功し、3位に入りました。これからの目標は、2026年にイタリアで開催される冬季オリンピックであり、自身のさらなる進化を目指し、四回転ジャンプの習得を目指して取り組んでいます。

そんな彼女から発せられた言葉は「泥臭く続けていれば、いつかは霧が晴れる」でした。泥臭いとは、洗練されたやり方ではないが着実に物事を行うとか、美しさはないが良い結果を求めるために努力することを指す言葉です。言い換えれば、地道、手間がかかる、根気がある、一步一步の努力が必要、とも言えます。

渡辺選手は、オリンピックという夢の舞台への出場を目標に、今、フィギュアスケートという競技に全力投球しています。そのための武器として、四回転ジャンプの習得を目指し、挑戦と失敗を日々繰り返しながら、努力を継続しています。もちろん自分自身との闘いも含め、大きなストレスから逃げずに正面から向き合っていることでしょう。これまでに幾度となく挫折感を味わいつつも、自分自身の内面を見直すことや、困難を経験するたびに新しい解決策を見つけ自分を高めてきたことが、今の渡辺選手を創り上げています。

さて、これから生徒の皆さんが取り組む「挑戦」は、けっして華やかなものばかりではありません。どちらかといえば泥臭い挑戦の方が圧倒的に多くなることでしょう。そんな時、自分にこのように問いかけてみてください。

- ・目の前の事に、全力投球しているだろうか
- ・失敗を恐れず、挑戦を繰り返しているだろうか
- ・投げ出さずに、努力を継続しているだろうか
- ・正面から、ストレスと向き合っているだろうか

3月の修了式で示した新しい合言葉「挑戦は自分を磨き輝かせるもの」を、皆さん一人一人が自分自身にあてはめ、この1年をどのような夢や目標をもって、どのように過ごすべきかを考えてほしいと思います。

また、令和6年度は、新しい大内中学校が開校して10年となります。令和7年度には、開校10周年の記念事業を行いますので、今年度はその準備の年となります。皆さんには、大内中の一員という立場で、どのようなことができるのかアイデアを募ります。10年後の20周年に向けての「道しるべ」にふさわしいものとしていきましょう。

いよいよ来週には新1年生が入学します。3年生は、学校のリーダーとして、2年生は、上級生を支え、下級生の指導を行うサブリーダーとして、大内中に新しい1ページを刻むべく、何事にも挑戦し、自分を磨き輝かせることを期待しています。

令和6年4月5日

由利本荘市立大内中学校長